

# OISA NEWS

OITA  
INFORMATION  
SERVICE INDUSTRY  
ASSOCIATION

2015. 1

64

発行：大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文  
<http://www.oisa.jp>  
編集：広報委員会  
事務局：大分市城崎町2-6-31  
(大銀コンピュータサービス(株)内)  
TEL (097) 537-5918  
FAX (097) 534-4545  
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会

## CONTENTS

2015年迎春 森秀文会長挨拶	2
第26回OISA技術交流会開催	3
第18回「技術研究会」発表会開催	4
第21回OISA研修委員会研修	5
平成26年度 第1回視察研修旅行	5
第20回OISAボウリング大会開催	6
フレッシュさん紹介、新年例会案内	7
第23回サウンズコンテスト案内	8





大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文

皆さん、明けましておめでとうございます。年末年始、いかがお過ごしでしたでしょうか。それぞれの過ごし方で英気を養い、清々しい新年をお迎えの事と思います。

当協会は、すでにご案内のとおり県内に事業所をおくIT、ICT会社、大手メーカー等約60社で構成され、官学の皆様との連携もさらに強化されてきたところであります。改めまして本年も会員各社の皆様そして関係機関及び関連団体の皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ところで、日本は高度情報化社会であるとともに「高齢社会」から「超高齢社会」に入ったとも言われ、少子化や労働人口の減少への対策が大きな社会的課題になっています。また、市場の国際化が進み、多くの企業は「国際競争力」が問われる時代になりました。どの産業においても、持続的な成長と安定的な雇用を実現するために、時代の変化に対応したより付加価値の高いビジネスモデルが必要となります。

さて、情報産業は、社会のあらゆる分野と接点を持つ「横断的なインフラ産業」となりました。現在IT関連のビジネスはインターネットを中心に5年前、10年前の予想を超えた進展を見せています。同様に、今後も現在の予想をはるかに超えた様々なITサービスが出現し、ビジネスチャンスが生まれ、新しい高度情報化社会が形成されていくと予想されます。

ところで、いよいよ今年4月24日には県立美術館(愛称OPAM)がグランドオープンいたしますが、それに先立ち建物の完成を祝う誕生祭が行われました。

併せてソフトパーク開設30年記念事業が関連イベン

トとして開催されました。昭和59年に本県の頭脳・情報の拠点として、大分工業高校の跡地に「豊の国テクノポリス計画」に基づき日本で最初に建設されたソフトウェア開発団地です。現在30を超える企業・専門学校・団体が入居しており、県内には大分市高江に大分インテリジェントタウンがありますが、ソフトパークのようにIT関連企業が数多く進出している団地は他にはありません。引き続き発展・繁栄が期待されているところです。このソフトパーク内のIT企業・団体ではコンピュータのソフトウェアを使ったアート作品の制作や関連ソフトウェア製品の製造に取り組んでおり、今やソフトウェアとアートは切り離せないものとなってきていることから、テーマを「ソフトパークはアートパーク」として、コンピュータや3Dプリンタ等を活用した様々な作品の展示やお子様の楽しめるものづくり体験など、様々な催しものを用意したところです。今まさにソフトはアート・情報・文化・芸術へと融合・進化しています。一般の皆様にも、もっと分かりやすい説明、PRなど可視化が必要な時ではないでしょうか。そして、なじみやすい業界へとすそ野を広げる時代を迎えているように思います。

さて、新年あけて早々に当協会の多くの行事が予定されています。まず恒例の新年例会を1月21日にトキハ会館にて開催し、「アフリカンサファリ」の獣医師である神田岳委先生に講演をしていただきます。1月24日は23回目となりますサウンズコンテストが開催されます。年々応募曲が増え、レベルも向上しており今年も楽しみです。2月1日の別大毎日マラソンの給水ボランティアは参加4年目となり会員企業からの参加者数も年々増加、今年は160名を超す参加者が見込まれています。これは全ボランティアの20%くらいを占める程の人数規模となります。2月6日は今年度2回目となります視察研修旅行が実施されます。今回は麻生セメント田川工場などを予定しています。

その他、今年も数多くの活動や行事が予定されています。各委員会の精力的な活動に感謝いたしますとともに今年も多く会員企業の皆様の参加をお願いいたします。最後に、皆様にとりまして2015年が夢と希望に満ちた素晴らしい年でありますように、心からご祈念を申し上げます。新年の挨拶といたします。

本年もどうぞよろしく申し上げます。



# 第26回 OISA 技術交流会開催

テーマ：「データビジネス最前線、ビッグ×オープン×パーソナル＝データ革命」  
 講師：株式会社国際社会経済研究所 主幹研究員  
 一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパン 常務理事 東 富彦 氏  
 日時：平成26年12月3日(水) 13:40～15:20  
 場所：大分商工会議所ビル 6F 大ホール

OISA 技術交流会は、業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招くことにより、大分県における情報サービス関連技術の向上および発展を促し、更なる振興を図る事を目的に毎年開催されています。26回目を迎える今回は、講師に株式会社国際社会経済研究所の主幹研究員 東富彦氏をお迎えして、講演をいただきました。今回は21団体88名の参加をいただき、大変活況を呈しました。

## 【講師プロフィール】

株式会社国際社会経済研究所主幹研究員。1983年電気通信大学卒業後、NEC入社。主に企業向けソフトウェアの研究開発を担当。2006年より社会貢献室で同社の社会貢献活動を立案。その後室長として教育やデジタルデバイド解消などのプログラムを推進。2014年2月に一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパンを創設、常務理事に就任。

## 【講演内容】

### 1. 利用できるデータの種類

行政機関や公的企業などが保有・公開するデータ（オープンデータ）をビジネスに活用する動きが広がってきている。欧米では既にオープンデータを使ったアプリケーションサービスが多数提供されるなど普及に拍車がかかっており、日本においても政府や自治体、企業などの間で利活用のための環境整備や新ビジネス・サービスの創出が推し進められている。

### 2. オープンデータとは

オープンデータの目的は公共機関が保有するデータを公開し、民間で再利用することである。個人情報には含まないとする場合が多くプライバシーを保護した上で公開するという動きや、民間所有の個人データの活用にもまで広げる動きがある。



講師の東 富彦 氏



ある。オープンにすべきデータの広がりでは、①公的機関が保有するデータ（政府、地方公共団体など）②公的資金で作成されたデータ（政府資金による民間研究成果など）③公益に資するデータ（製薬メーカーの治験データなど）等がある。目的としては、①政府の透明化 ②公共サービス向上 ③経済活性化がある。オープンデータの経済効果としては、G20において今後5年間でGDPを13兆ドル押し上げる効果や、G20が掲げるGDP成長目標2%の半分以上をオープンデータによって達成するといわれている。

### 3. ビッグデータ、パーソナルデータ

IT業界の中から始まった「ビッグデータ」ブームは、これまで処理できなかったような膨大なデータを分析することで消費者の行動パターンを把握し、ビジネスチャンスにつなげようと各社が競っている。しかし、ビジネスでの利用が広がっていく一方で大きな課題もある。パーソナルデータ（個人情報）の問題である。

### 4. 新しいデータ活用ビジネスが続々と登場

アメリカのエネルギー情報サービス会社である『Opower』は、家庭でのエネルギーの使用量、気象、機器の効率データなどを元にして最適化した省エネ対策をアドバイスしている。他にも、不動産価格の独自評価をする『Zillow』や、クレジットカードの不正利用検知の『BillGuard』など、オープンデータを活用した新ビジネスが生まれ、広がっている。

### 5. 最後に

パーソナルデータの価値に目覚めた消費者は、データを企業と取引する動きが始まっている。データビジネスで鍵を握るパーソナルデータを、今後コントロールしていくのは企業か、消費者かを注目していきたい。

(技術委員会)

# 第18回「技術研究会」発表会開催

日時：平成26年12月3日(水) 15:25～17:05  
場所：大分商工会議所ビル 6F 大ホール

技術委員会が主催する平成26年度「技術研究会」発表会が開催されました。この研究会は、毎年会員各社の中堅および若手の技術者が集まってソフトウェアの技術研究を共同で行うもので、今回で18回目となります。

今年度は「3Dプリンタ」「ウェアラブルデバイス」の二つの研究部会を設けて募集を行い、大分大学大学院生を含め、11名の参加者により、部会ごとに具体的なテーマを決めて実際の研究活動を行ってきました。

発表会では、昨年度に引き続き産学連携をより深める取り組みとして、日本文理大学の「研究シーズ」を紹介していただきました。

今回の大学研究シーズ発表内容は以下の通りでした。

## ●大学研究シーズ発表

テーマ：「水中観測ロボットと組み込み技術」  
発表者：日本文理大学 工学部機械電気工学科  
准教授 稲川 直裕氏

人や水中カメラに代わる水中観測システムで、軽量で安価な水中遠隔探索ロボット (ROV) を開発した。ロボット本体の重量が約2.7キログラムと軽いため普通乗用車で運搬でき、調査開始までの時間は最短5分である。実証実験では水深100メートルまで潜れることを確認した。塩化ビニール管を骨格に、ハイビジョンカメラや超音波センサーなどを搭載し、水平、上下方向への移動と左右の旋回が可能。電源を入れれば1秒で稼働、セッティングが容易で、災害時などに普通車で駆けつけ、すぐに水中を確認できる。ダム底の構造物の近接目視や推積物の状況把握等で活躍が期待される。

続いて各部会のメンバーより、今年度行ってきた研究の成果を発表いただきました。今回の各部会の研究テーマと発表内容は以下の通りでした。

## ①3Dプリンタ部会

テーマ：「家庭への3Dプリンタ普及の課題と解決策について」  
内容：最近ニュースのキーワードとして度々登場する「3Dプリンタ」。3Dプリンタはなぜ注目されているのか、手軽に使いこなすことが出来るのかを、実際の

3Dプリンタを使い検証した。モデルはカエル、有翼馬、カーテンフックを使い、写真から3Dデータを作成、プリントを行う。そこから出てきた、問題点および原因対策などを紹介。

## ②ウェアラブルデバイス部会

テーマ：「ウェアラブルデバイスの現状と今後について」  
内容：ウェアラブルデバイスとは腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定された端末の総称で、代表的なものにはスマートグラスやスマートウォッチなどがある。実際にスマートグラスやスマートウォッチを使ってみてメリット、デメリットを調査した。また、技術的な研究ができないかと議論し、スマートウォッチを使用したアプリケーション開発にも取り組み、今後の展望などを紹介。

各部会とも、本務の傍ら十分な時間が取れない中での研究活動であったと思われますが、いずれも新しい技術動向に対して精力的に研究し、実業務への影響や新たな事業展開の可能性を視野に入れた前向きな取り組み姿勢に感慨しました。

最後に安達委員長より講評とお礼を申し上げ、各部会の代表者に対して研究活動の労をねぎらいました。

なお、各部会の発表資料は当協会のホームページにて公開しています。  
(技術委員会)



3D プリンタ部会



ウェアラブルデバイス部会



# 第21回 OISA研修委員会研修の実施

平素はOISA研修委員会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

会員各企業従業員の皆様の技術力アップを目的とした技術研修会も、早いもので今年で21回目を迎えました。今年度は、OISA主催研修1講座の開催となり、毎年行っている研修ニーズのアンケート結果から実施要望が最も多かった講座として「プロジェクトマネージャ研修」を選定し、実施しました。なお、本講座は毎年JISAの補助金を受けて開催しています。

「プロジェクトマネージャ研修」では、プロジェクトマネジメントの標準であるPMBOKを学習し、プロジェクトを円滑に進めることができるマネジメントの知識技術を身につけることを目標に、演習を交えて実施しました。

他企業の方との交流の場となる良い機会ですので、来年度もたくさんの方にご参加いただき、活用していただければと思います。

来年度に向けて、1月に研修ニーズのアンケート調査を行う予定です。皆様のご要望に沿った形で充実した研修メニューを考えていきますので、ご意見、ご要望をお待ちしています。  
(研修委員会)



講座名	実施日	参加者人数	参加企業数
OISA 主催 プロジェクトマネージャ研修	平成26年10月22日(水)～24日(金)	11人	10社

## 平成26年度

# 第1回 OISA 視察研修旅行

日程：平成26年8月28日(木)～29日(金)  
視察先：宇部興産株式会社(山口県宇部市)  
秋吉台科学博物館(山口県美祢市)  
黒田官兵衛資料館(大分県中津市)  
参加：12社19名

### 1日目 視察内容

#### 宇部興産株式会社

会社概要の説明DVDを鑑賞し、UBEグループの歴史や製品・技術を紹介する総合案内施設「UBE i PLAZA」にて館長より、UBEグループの歩みや、情報・電子産業／自動車産業／生活／社会インフラの4テーマでそれぞれに関わる製品の紹介と先進技術や研究開発への取組みの説明を受けた後、バスにて、宇部興産専用道路を通り、車窓から宇部セメント工場や宇部ケミカル工場などが立ち並ぶ工場群を見学し最後に宇部興産大橋を渡り見学を終了しました。

集合写真



館長より説明を受けている風景



### 2日目 視察内容

#### 秋吉台科学博物館

カルスト台地の成り立ちについてのDVDを鑑賞後、学術調査・研究を行っている講師の方より館内展示物の説明やカルスト台地から日本そのものの成り立ちの説明を受け、エントランスより実際にカルスト台地を見学しました。

博物館講師より説明を受けている風景



博物館での集合写真



#### 黒田官兵衛資料館

当初予定しておりました鶴惣工業株式会社萩工場様の代替えとして黒田官兵衛資料館を見学しました。昨年の大河ドラマ「軍師官兵衛」で話題になっている黒田官兵衛の豊前国統治時の資料や展示物を見学し見聞を広げました。

(企画委員会)



# 第20回 OISAボウリング大会開催

開催日：平成26年11月26日(水) 場 所：OBSボウル

去る11月26日(水)、イベント委員会主催によるボウリング大会が、OBSボウルにて23社36チーム144名の参加を得て、盛大に開催されました。

競技は1チーム4人で構成され、2ゲームのトータルスコアで団体戦と個人戦が競われました。

競技終了後表彰式が行われ、森会長の挨拶に続き、上位入賞者の表彰と賞品の授与が行われました。また、上位入賞者のスピーチと記念撮影があり、和やかな雰囲気での大会を終了しました。

今大会は、団体戦では富士通九州システムズが優勝し、個人戦では前津勇輔さんがトータル431点という驚異的なスコアで優勝を勝ち取りました。

次回も皆様のご参加をお待ちしています。

(イベント委員会)

## 団体戦の部

順位	チーム名	総得点
優勝	富士通九州システムズ	1,361点
準優勝	オーイーシーB	1,288点
3位	九州東芝エンジニアリングA	1,226点
4位	KCS大分情報専門学校A	1,215点
5位	コンピュータ・エンジニアリング	1,210点
6位	大銀コンピュータサービスA	1,200点
7位	鶴崎海陸運輸	1,175点
8位	シーエイシーB	1,132点
9位	オーイーシーA	1,131点
10位	大分県自治体共同アウトソーシングセンターA	1,130点



森会長挨拶



優勝チーム



準優勝チーム



男子ハイゲーム賞 431点  
前津 勇輔さん  
富士通九州システムズ



女子ハイゲーム賞 289点  
佐藤 愛華さん  
オーイーシーBチーム



表彰会の様子

## フレッシュさん紹介 よろしくお願いたします。

㈱アトムス  
オフィスソリューション営業部  
**津行 健亮**

趣味：カラオケ・卓球  
好きな言葉：やればできる



株式会社シーエイシー  
システム部  
**山内 洪壽**

趣味：音楽鑑賞  
好きな言葉：困知勉行



佐伯印刷株式会社  
デジタル制作部企画グループ  
**渡邊 美幸**

趣味：芸術鑑賞  
好きな言葉：瞬間を生きる



入社当初は、自分に自信が持てず、営業がとても不安でしたが、お客様と関わる回数が増えるにつれ「印象悪くないから営業向いているよ。」と言っていたけど事も多々あり、少しずつですが自信がついてきました。「石の上にも三年。とにかく三年頑張れ！そうすればまた何か見える事も出てくるよ。」と、父の言葉を胸に秘め日々頑張っています。営業はとても奥が深く立派な営業マンになるにはまだまだ道のりは長そうです。仕事でミスをする私に愛のある厳しい言葉をかけてくれる上司や、問題を抱えた時にしっかりサポートしてくれる先輩、営業先でのお客様、色々な方に支えられていると感じます。新人と言えない年数に突入しましたが、まだまだ未熟です。いつしか支えていただいた上司や先輩、お客様に「立派な営業マンになったね。」と言ってもらえる様、今後も一生懸命頑張っていきたいと思います。

昨年3月に学校を卒業し、同年4月に入社してから早くも1年が過ぎようとしています。入社当時は新しいことの連続で、仕事でも失敗することが多々ありました。しかし上司や先輩方のご指導の下、日々勉強を重ねていくうちに、徐々に仕事に慣れていくことができています。現在私は、お客様からいただいた要望をプログラムに反映し、改善する仕事を任せてもらっています。今ではまだ仕事の早さも正確さも足りず、その度に自分の未熟さを痛感させられますが、それと同時に能力も上がってきていると実感できるようになりました。これからも学ぶことは多いと思いますが、日々努力することを忘れずに、お客様からも信頼されるSEになれるよう頑張ります。

平成25年の3月に入社し、1年と10ヵ月程が経ちました。「現場だからこそ体験できること」がたくさんある職場で、とても刺激を受ける毎日を過ごしています。入社して間もないころはプレッシャーを感じたり、悩むことも多かったのですが、そういった中で自分が担当した仕事で、お客様から直筆でお礼の手紙をいただいた時は、本当に疲れを忘れてしまうほど嬉しかったです。そのことを機に今まで以上にお客様の立場になって考え、喜んでいただける物づくりを心がけていきたいと思うようになりました。これからも前向きに学ぶ姿勢やチャレンジしたりする気持ちを忘れずに日々精進していきます。未熟者な私ですが、早く先輩方を安心させられる存在となれるよう頑張ります。



## 新年例会のご案内

1. 日時 平成27年1月21日(水)  
15:30より(受付 15:00より)
2. 場所 トキハ会館 5階ローズの間  
大分市府内町2丁目1番4号  
(097) 538-3111
3. 新年例会
  - (1) 新年挨拶 15:30～16:00  
森会長挨拶、来賓挨拶
  - (2) 特別講演 16:00～17:30
    - ①講師 神田 岳委氏
    - ②演題 「どうぶつと共に生きる」
  - (3) 新年祝賀会(パーティー) 17:30～
    - ①祝賀会会場 5階ローズの間
    - ②会費 お1人につき 5,000円

### <神田 岳委氏プロフィール>

白杵市出身 昭和44年生まれ45歳  
日本獣医畜産大学(現日本獣生命科学大学)卒業  
獣医師  
九州自然動物公園アフリカンサファリ株式会社  
取締役展示部部長 専門獣医師

- ・白杵市教育委員
- ・大分県獣医師会 学校飼育動物担当
- ・大分合同新聞に「獣医さんの観察記」を連載中
- ・著書「サバンナに生きる」大分合同新聞社
- ・OBSラジオ「動物なしか」  
OBSテレビ「カボスタイム」出演中





コンテスト

公開審査・結果発表

入場  
無料

平成27年  
**1月24日** 土  
13:30~17:00

- ①フリー曲部門
  - ①学生の部 ②一般の部
  - ・オリジナル曲 ・アレンジ曲(編曲)
- ②応援歌部門
  - ①大分トリニータの部(オリジナルで歌詞入り可)
  - ②ふるさと応援歌の部  
(オリジナルで歌詞入り可・まつりやスポーツなど自由に可)

ところ

**iiichiko総合文化センター**  
映像小ホール(地下1階)  
大分市高砂町2番33号  
TEL 097-533-4000(代表)

表彰について

- 全部門内よりグランプリ賞(総合1位)
- ①フリー曲部門
    - ①学生の部(1位・2位)
    - ②一般の部(1位・2位)
  - ②応援歌部門
    - ①大分トリニータの部(1位)
    - ②ふるさと応援歌の部(1位)

- 後援 大分フットボールクラブ・日本文理大学・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送  
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・OCT大分ケーブルテレコム
- 協賛 大分フットボールクラブ・日本文理大学・Oita Sound Creator協会

お問い合わせ 大分県情報サービス産業協会 コンテスト事務局  
TEL 097-568-4600 FAX 097-569-0121 担当/大熊(ゴードービジネスマシジ様)

<http://www.oisa.jp/sounds/>

